

2020年の北陸地方の天候経過

(2020年は記録的な高温・記録的な少雪)

- ◆ 冬(2019年12月～2020年2月)は、強い寒気の南下は一時的で冬型の気圧配置が長続きせず、暖かい空気に覆われたため記録的な暖冬、記録的な少雪となった。
- ◆ 春(3～5月)は、3月と5月は南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため春の気温は高かった。
- ◆ 夏(6～8月)は、6月は高気圧に覆われて晴れた日が多く、かなりの高温、かなりの多照となった。7月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、かなりの多雨・かなりの寡照となった。
- ◆ 秋(9～11月)は、9月は台風第9号や第10号の北上により南から暖かい空気が流れ込んだため気温はかなり高くなった。10月は低気圧や前線の影響を受けにくかったため、降水量はかなり少なくなった。11月は中旬を中心に高気圧に覆われ晴れた日が多く、日照時間はかなり多くなった。
- ◆ 12月は、上旬から中旬の前半にかけては、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。中旬の後半以降は、冬型の気圧配置となり、曇りや雪または雨の日が多く、大荒れや大雪となった所もあった。また、中旬は日照時間がかなり少なくなった。下旬は降水量がかなり多かった。
- ◆ 北陸地方平均の年平均気温は、1946年の統計開始から最も高い記録的な高温となった。
- ◆ 北陸地方平均の年降雪量は、1961年の統計開始から最も少ない記録的な少雪となった(平年比6%)。
- ◆ 9月3日には台風第9号の影響でフェーン現象が発生し各地気温が上昇、日最高気温が三条(新潟県)で40.4℃、中条(新潟県)で40.0℃と、全国の気象官署及びアメダスで、9月として初めて40℃を超えた。
- ◆ 7月までの台風の発生数は2個で平年より少なかった一方で、8月以降の発生数は21個となり、平年より多かった。年を通じた発生数は平年より少ない23個(平年25.6個)で、日本への上陸数は0個(平年2.7個、上陸が無かったのは2008年以来で、1951年以降では5回目)、北陸地方への接近数は0個(平年2.5個)だった。

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

☆冬(2019年12月～2020年2月) ー記録的な暖冬、少雨、多照、記録的な少雪ー

強い寒気の南下は一時的で冬型の気圧配置が長続きせず、暖かい空気に覆われた。このため、北陸地方の全ての気象官署と特別地域気象観測所で冬の3か月平均気温が統計開始以来最も高くなった。北陸地方の3か月平均の気温は平年差+2.3℃となり、冬の平均気温として最も高くなった(統計開始は1946/47年冬)。また、雪の日も少なかったため北陸地方の3か月合計の降雪量は平年比7%となり、冬の降雪量として最も少なくなった(統計開始は1961/62年冬)。

月別の記録では、1月の北陸地方の月平均気温は平年差+2.9℃となり、1946年の統計開始以来第1位の高温となった。また、1月の北陸地方の月降雪量は平年比0%となり、1961年の統計開始以来第1位の少雪となった。

気温は、12月、1月、2月はかなり高かった。3か月平均はかなり高かった。

降水量は、12月は少なく、3か月合計では少なかった。

日照時間は、12月と2月は多かった。3か月合計では多かった。

降雪量は、12月、1月、2月はかなり少なく、3か月合計はかなり少なかった。1961年の統計開始から最も少ない記録的な少雪となった(平年比7%)。

3 か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	12～2月	12月	1月	2月
平均気温平年差 階級	+2.3℃ かなり高い	+1.4℃ かなり高い	+2.9℃ かなり高い	+2.3℃ かなり高い
降水量平年比 階級	85% 少ない	72% 少ない	93% 平年並	97% 平年並
日照時間平年比 階級	110% 多い	118% 多い	101% 平年並	110% 多い
降雪量平年比 階級	7% かなり少ない	3% かなり少ない	0% かなり少ない	18% かなり少ない

☆春(3月～5月) ー高温・多照ー

天気は概ね数日の周期で変わったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。3月と5月は南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため春の気温は高かった。また、高気圧に覆われて晴れた日が多かったことから春の日照時間は多かった。

気温は、3月はかなり高く、4月は低く、5月は高かった。3か月平均は高かった。

降水量は、4月は多く、5月はかなり少なかった。3か月合計は平年並だった。

日照時間は、3月は多かった。3か月合計は多かった。

3 か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	3～5月	3月	4月	5月
平均気温平年差 階級	+0.7℃ 高い	+2.1℃ かなり高い	-1.2℃ 低い	+1.2℃ 高い
降水量平年比 階級	93% 平年並	103% 平年並	131% 多い	48% かなり少ない
日照時間平年比 階級	106% 多い	120% 多い	100% 平年並	101% 平年並

☆夏(6月～8月) ー高温・かなりの多雨・寡照ー

6月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多く、かなりの高温、かなりの多照となった。7月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、かなりの多雨、かなりの寡照となった。8月は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

気温は、6月はかなり高く、7月は低く、8月は高かった。3か月平均は高かった。

降水量は、7月はかなり多く、8月は少なかった。3か月合計はかなり多かった。

日照時間は、6月はかなり多く、7月はかなり少なく、8月は多かった。3か月合計は少なかった。

3 か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差 階級	+0.9℃ 高い	+1.9℃ かなり高い	-0.9℃ 低い	+1.7℃ 高い
降水量平年比 階級	137% かなり多い	114% 平年並	205% かなり多い	73% 少ない
日照時間平年比 階級	96% 少ない	127% かなり多い	40% かなり少ない	116% 多い

☆秋(9月～11月) ーかなりの高温・少雨・多照ー

天気は概ね数日の周期で変化したが、9月は台風第9号や第10号の北上により南から暖かい空気が流れ込んだため気温はかなり高くなった。9月3日には台風第9号の影響でフェーン現象が発生し各地気温が上昇、日最高気温が三条(新潟県) 40.4℃、中条(新潟県)で40.0℃と、全国の気象官署及びアメダスで、9月として初めて 40℃を超えた。10月は低気圧や前線の影響を受けにくかったため、降水量はかなり少なくなった。11月は中旬を中心に高気圧に覆われ晴れた日が多く、日照時間はかなり多くなった。

気温は、9月はかなり高く、11月は高かった。3か月平均はかなり高かった。

降水量は、10月はかなり少なく、11月は少なかった。3か月合計は少なかった。

日照時間は、9月多く、11月はかなり多かった。3か月合計は多かった。

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	9～11月	9月	10月	11月
平均気温平年差 階級	+1.2℃ かなり高い	+2.0℃ かなり高い	+0.2℃ 平年並	+1.4℃ 高い
降水量平年比 階級	87% 少ない	118% 平年並	67% かなり少ない	76% 少ない
日照時間平年比 階級	107% 多い	110% 多い	94% 平年並	123% かなり多い

☆12月

上旬から中旬の前半にかけては、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。中旬の後半以降は、冬型の気圧配置となり、曇りや雪または雨の日が多く、大荒れや大雪となった所もあった。また、中旬は日照時間がかなり少なく、下旬の降水量はかなり多かった。

気温は平年並、降水量は多く、日照時間は少なかった。

☆年

2020年の北陸地方の平均気温の平年差は+1.1℃で平年よりかなり高く、1946年の統計開始から最も高い記録的な高温となった。月別で「高い」階級となった月は5月、8月、11月で、「かなり高い」階級となった月は1月、2月、3月、6月、9月だった。「低い」階級となった月は4月、7月、「かなり低い」階級となった月はなかった。

年降水量の平年比は106%で平年並だった。月別で「多い」階級となった月は4月、12月で、「かなり多い」階級となった月は7月だった。「少ない」階級となった月は8月、11月で、「かなり少ない」階級となった月は5月、10月だった。

年間日照時間の平年比は102%で平年並だった。月別で「多い」階級となった月は2月、3月、8月、9月で、「かなり多い」階級となった月は6月、11月だった。「少ない」階級となった月は12月で、「かなり少ない」階級となった月は7月だった。

年降雪量の平年比は6%だった。1961年の統計開始から最も少ない記録的な少雪となった。

気象官署と特別地域気象観測所の値は表1及び図2～4のとおりであり、北陸地方の年平均気温の経年変化は長期的には上昇傾向となっている(図1)。

気象官署と特別地域気象観測所の年別の順位更新は表2、季節別の順位更新は表3、月別の順位更新は表4のとおりである。

表1 2020年の北陸地方の年統計値

	年平均気温		年降水量		年間日照時間	
	実況(°C)	平年差(°C)	実況(mm)	平年比(%)	実況(h)	平年比(%)
新潟	14.7	+1.1	2077.5	114	1608.5	99
相川	15.0	+1.1	1810.0]	×	1605.5	98
高田	14.7	+1.1	3084.0	112	1567.2	98
富山	15.4	+1.3	2136.0	93	1664.6	103
伏木	15.1	+1.2	2065.0	93	1722.4	107
金沢	15.9	+1.3	2535.5	106	1735.8	103
輪島	14.6	+1.1	2194.0	104	1578.4	101
福井	15.6	+1.1	2531.5	113	1695.3	105
敦賀	16.3	+1.0	2461.0	115	1619.8	104
北陸平均		+1.1		106		102

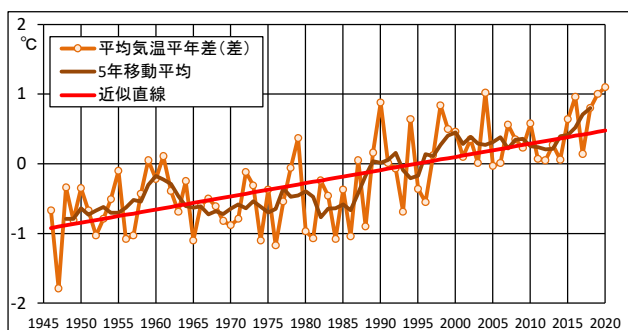


図1 北陸地方の年平均気温経年変化

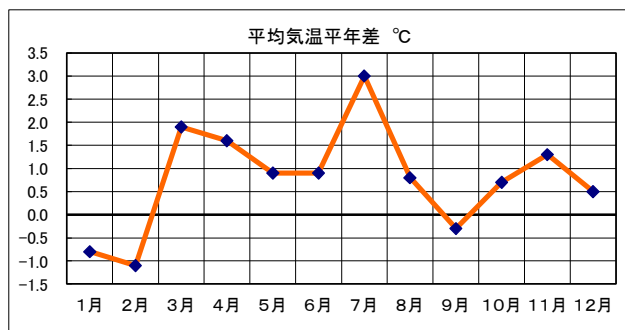


図2 北陸地方の月別平均気温平年差(°C)

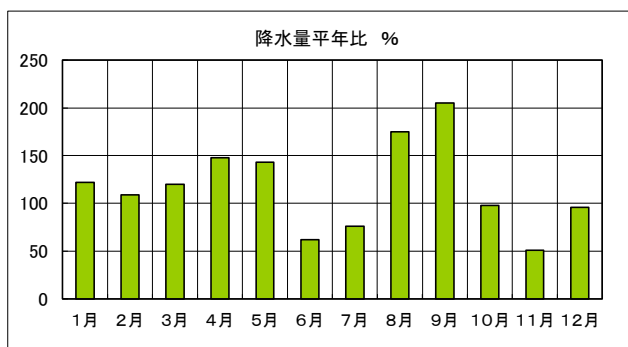


図3 北陸地方の月別降水量平年比(%)

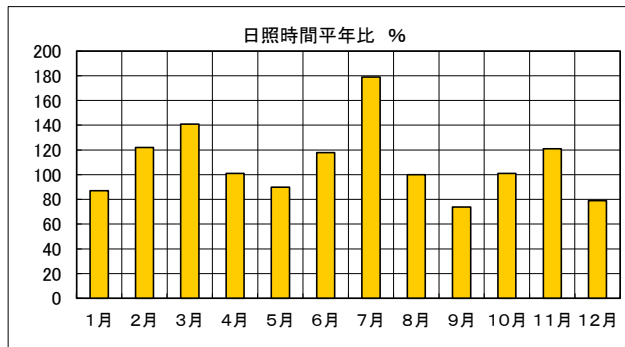


図4 北陸地方の月別日照時間平年比(%)

注1：平年値としては、1981～2010年の30年平均値を使用している。

注2：本文中の平年差・比は、北陸地方の気象官署・特別地域気象観測所平均(9地点)の値である。なお、北陸平均の統計開始は1946年。

注3：表1で、値の横に)がある場合、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、正常値(資料が欠けていない)と同等に扱います(準正常値)。

表2 2020年の年別で順位を更新した記録(3位以内)

◎年の平均気温の高い方からの順位更新

年	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦年) ℃	統計開始年	平年値 ℃
2020	1	相川	15.0	+1.1	14.8(2019)	1911	13.9
		高田	14.7	+1.1	14.6(2004)	1922	13.6
		富山	15.4	+1.3	15.2(2019)	1939	14.1
		伏木	15.1	+1.2	14.9(2019)	1883	13.9
		金沢	15.9	+1.3	15.8(2019)	1882	14.6
		輪島	14.6	+1.1	14.5(2004)	1929	13.5
	福井	15.6=	+1.1	15.6(2019)	1897	14.5	
	2	新潟	14.7=	+1.1	14.9(1990)	1881	13.6
3	敦賀	16.3=	+1.0	16.4(2016)	1897	15.3	

注) =はタイ記録を示す。

表3 2020年の季節(3か月)別で順位を更新した記録(3位以内)

◎3か月間平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦年) ℃	統計開始年	平年値 ℃
12-2	1	新潟	5.6	+2.2	5.4(2007)	1882	3.4
		高田	5.4	+2.1	5.2(1949)	1923	3.3
		相川	6.7	+1.9	6.3(2007)	1912	4.8
		富山	6.3	+2.6	5.6(2007)	1940	3.7
		伏木	6.2	+2.4	5.6(1979)	1884	3.8
		金沢	7.1	+2.3	6.1(2007)	1883	4.8
		輪島	6.0	+2.0	5.5(1949)	1930	4.0
		福井	6.6	+2.5	5.9(1979)	1898	4.1
敦賀	7.9	+2.4	7.1(2007)	1898	5.5		
9-11	1	相川	18.3	+1.4	18.2(2012)	1911	16.9
		富山	17.9	+1.4	17.8(2004)	1939	16.5
	2	伏木	17.8=	+1.2	18.0(1961)	1884	16.6
		輪島	17.2=	+1.2	17.3(2004)	1929	16.0
	3	金沢	18.4=	+1.3	18.5(2019)	1882	17.1

注) =はタイ記録を示す。

◎3か月降水量の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高(西暦) mm	統計開始年	平年値 mm
6~8	2	新潟	831.5	181	842.3(1958)	1882	460.6

◎3か月降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最小(西暦年) mm	統計開始年	平年値 mm
12-2	1	新潟	342.0	65	349.0(1982)	1882	525.0

表4 2020年の月別で順位を更新した記録(3位以内)

◎月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦年) ℃	統計開始年	平年値 ℃
1	1	新潟	5.2	+2.8	4.9(2007)	1882	2.4
		高田	5.3	+2.9	4.7(1989)	1922	2.4
		相川	6.0	+2.1	5.8(2007)	1912	3.9
		富山	6.1	+3.4	5.0(1972)	1939	2.7
		伏木	6.0	+3.3	5.4(1972)	1884	2.7
		金沢	6.7	+2.9	5.9(1989)	1882	3.8
		輪島	5.6	+2.5	5.3(1972)	1930	3.1
		福井	6.4	+3.4	5.7(1989)	1897	3.0
2	1	相川	5.9	+2.1	5.5(2007)	1912	3.8
		金沢	6.3	+2.4	6.2(2007)	1882	3.9
	2	輪島	5.2	+2.1	5.4(1990)	1930	3.1
		福井	5.9=	+2.5	6.4(1990)	1897	3.4
		新潟	5.0	+2.3	5.6(1990)	1882	2.7
	3	富山	5.5=	+2.5	5.7(2007)	1939	3.0
		敦賀	7.1=	+2.4	7.5(1990)	1898	4.7
新潟		7.9	+2.2	7.7(2002)	1882	5.7	
3	1	高田	7.8	+2.4	7.6(2018)	1922	5.4
		相川	8.1	+1.9	8.0(2002)	1912	6.2
		伏木	8.3=	+2.1	8.3(2018)	1884	6.2
		金沢	9.0=	+2.1	9.0(2002)	1882	6.9
		輪島	7.6	+1.9	7.5(2018)	1930	5.7
		福井	8.8	+2.0	8.7(2002)	1897	6.8
		敦賀	10.0	+2.2	10.1(2018)	1898	7.8
	2	富山	8.4	+2.1	8.7(2018)	1939	6.3
6	1	富山	23.0=	+2.1	23.0(1979)	1939	20.9
		高田	22.3	+1.7	22.7(1979)	1922	20.6
	2	相川	21.3	+1.8	21.9(1916)	1911	19.5
		金沢	23.2=	+2.0	23.3(1979)	1882	21.2
		輪島	21.6	+2.0	21.7(1979)	1929	19.6
	3	福井	23.5	+1.9	23.9(1979)	1897	21.6
		敦賀	23.4	+1.7	23.9(1979)	1898	21.7
8	2	金沢	28.9=	+1.9	29.3(2010)	1882	27.0
		富山	28.8	+2.2	29.3(2010)	1939	26.6
	3	福井	29.0=	+1.8	29.4(2010)	1897	27.2
		敦賀	29.2=	+1.8	29.8(2010)	1898	27.4
9	2	高田	24.4	+2.4	24.5(2012)	1922	22.0
		相川	24.6	+2.5	25.3(2012)	1911	22.1
	3	新潟	24.4	+1.9	25.2(2012)	1881	22.5
		富山	24.5=	+2.2	25.1(2012)	1939	22.3
		伏木	24.3=	+1.9	24.8(2012)	1884	22.4
		金沢	24.8=	+2.1	25.2(2012)	1882	22.7
輪島	23.6	+2.0	24.4(2012)	1929	21.6		
11	3	相川	12.9=	+1.3	13.7(2004)	1911	11.6

注) =はタイ記録を示す。

◎月降水量の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最小(西暦年) mm	統計開始年	平年値 mm
7	1	新潟	649.5	338	511.8(1958)	1881	192.1
	3	相川	474.5	275	499.0(2013)	1911	172.3

◎月降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最小(西暦年) mm	統計開始年	平年値 mm
5	1	富山	23.0	17	44.0(1970)	1939	134.2
		伏木	36.0	29	40.6(1887)	1884	125.6
		金沢	42.5	27	47.5(1967)	1882	155.2
		輪島	40.0	31	42.5(1989)	1929	127.6

◎月間日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最大(西暦年) h	統計開始年	平年値 h
11	2	伏木	140.7	141	141.3(1954)	1893	100.1

◎月間日照時間の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最大(西暦年) h	統計開始年	平年値 h
7	1	高田	30.5	20	65.2(2009)	1922	153.8
		相川	78.5	48	81.3(2006)	1911	164.2
		富山	51.5	35	64.3(1988)	1939	147.1
		伏木	63.0	41	69.1(1988)	1893	153.1
	2	新潟	75.3	47	50.4(1903)	1892	160.1
		金沢	69.5	44	67.8(1988)	1891	158.9
		福井	62.2	41	51.7(2003)	1898	149.9
		敦賀	55.0	38	46.5(2003)	1914	146.5